

Books of the Month

今月の本

看護研究 ミニマム・エッセンシャルズ

著：川口孝泰
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：本体 2800 円＋税

看護研究を進める上で知っておきたい基本的な学習要素（ミニマム・エッセンス）をまとめた本書は、初学者にとっての手引書であると共に、すでに研究に取り組んでいる人には、研究をさらに深めるための道しるべとなる。自己学習だけでなく、授業、指導の参考書として、看護教員や臨床の指導者にも最適の書。



世界一わかりやすい 「医療政策」の教科書

著：津川友介
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：本体 3000 円＋税

セオリー（学問的な理論）とエビデンスの両方を兼ね備え、綿密にデザインされた医療政策とは何か。ハーバード大学の博士課程で学び、UCLA で教える著者が、医療政策・医療経済学に関するセオリーとエビデンスの中から、普遍性があり日本の医療にも適用できるものを中心に紹介する。



《シリーズ ケアをひらく》 「脳コワさん」支援ガイド

著：鈴木大介
グラフィックレコーディング：清水淳子
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：本体 2000 円＋税

高次脳機能障害、うつや認知症、発達障害などの人には、「脳の情報処理スペックの低下」という共通の困り事がある。会話がうまくできない、感情のコントロールができないなどに苦しむ状況から回復に向かうまでの著者自身の詳細な振り返りから、当事者が「楽」になって前に進むために援助者ができることを示唆している。対人援助職必携の実践的ガイド。



《シリーズ ケアをひらく》 やってくる

著：郡司ベギオ 幸夫
発行：医学書院
TEL：03-3817-5650
定価：本体 2000 円＋税

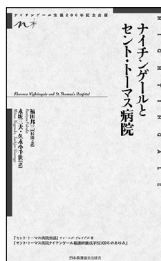
生ハムメロンはなぜ美味しいのか？ 対話という行為がなぜ破天荒なのか？——私たちの「現実」は、既にあるものの組み合わせではなく、外部からやってくるものによってギリギリ実現されている。ケアという「小さき行為」の奥底に眠る過激な思想を、筆者である郡司氏は素手で取り出してみせる。その圧倒的に優しい知性がここに。



ナイチンゲールと セント・トーマス病院

校閲・訳：福田邦三／訳：永坂三夫、久永小千世
発行：日本看護協会出版会
TEL：0436-23-3271
定価：本体 2700 円＋税

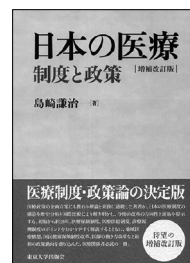
1860 年、セント・トーマス病院に看護婦養成学校をつくったナイチンゲール。本書は、その病院の 1000 年の歴史と、ナイチンゲール看護婦養成学校 100 年の歩みをひも解き、看護教育制度確立に自らの夢をかけたナイチンゲールの覚悟と、厳格な規律の中で看護を学び、世界に知らしめたナースたちの使命感あふれる姿を追う。



日本の医療 制度と政策 増補改訂版

著：島崎謙治
発行：東京大学出版会
TEL：03-6407-1069
定価：本体 4800 円＋税

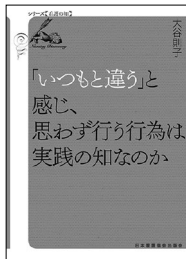
医療の歴史、各国との比較から日本の医療制度の構造を明らかにするテキストの増補改訂版。最新の政策動向を加えると共に、基礎的な概念や、制度や政策の細部に潜む本質を丁寧に解説する。コラムや脚注も細部まで見直し、加筆した。医療行政関係者、医療従事者必読の 1 冊。



「いつもと違う」と感じ、 思わず行う行為は実践の知なのか

著：大谷則子
発行：日本看護協会出版会
TEL：0436-23-3271
定価：本体 2400 円＋税

看護師なら誰もが経験する、なんとなく「いつもと違う」という感覚。そこでとっさに行われる行為に潜む実践の「知」について、探究を始めた著者。6 人の看護師の事例から、現場で行われている日々の実践の中に、看護師本人も気づいていないたくさんの小さな知が集積していることを明らかにする。看護のすぐれた暗黙知を可視化する、好評シリーズ。



Essentials of EBP JBI：推奨すべき看護実践 海外エビデンスを臨床で活用する

編：植木慎悟、山川みやえ／監：牧本清子
発行：日本看護協会出版会
TEL：0436-23-3271
定価：本体 3400 円＋税

本来的な意味でのエビデンスに基づく看護実践を行なうには、国内論文だけではまだ難しく、蓄積された海外の論文成果を参考にすることが必須である。看護ケアに関する文献の分析と統合を行う Joanna Briggs Institute のエビデンス情報の中から注目すべきテーマを選び、日本の臨床事情を踏まえて解説を加えた最新ベストプラクティス集。

